

TOPICS

中国 瀋陽市・長春市の概況 ～社団法人奈良工業会・若草会主催「瀋陽・長春海外視察」に参加して～

本年9月2日から6日までの日程で、社団法人奈良工業会・若草会主催の「瀋陽・長春海外視察」に参加させていただく機会を得ました。今回訪ねた瀋陽・長春両市は中国東北部に属し、穀倉地帯であるとともに、天然資源が豊富で工業も盛んな地域です。また、戦前・戦中には満州国が置かれ、日本と歴史的に関係の深いところでもあります。両市の概況をレポートします。

■瀋陽市・長春市の位置図



■瀋陽市の概要

瀋陽市は遼寧省の省都。市区の人口は509万人、全市では714万人（2008年）。中国東北地方最大の重工業都市で、東北地方の政治、経済、交通、文化の中心地である。

瀋陽の歴史は長く、7,200年前から古代人が居住していたと言われている。明代（1368年～1644年）には「瀋陽中衛」が設けられ、強固な要塞としてその名を馳せたが、その後、後金の太祖ヌルハチが明軍を破り、1625年瀋陽に遷都した。1634年太宗ホンタイジが即位し、瀋陽をムクデンと改名。1657年に清朝が全国を統一後、ここに奉天府を設けたことにより、当

地は「奉天」とも呼ばれた。

瀋陽の近代化は清代末から始まった工業の発展とともに進んだ。第一次大戦前後には奉天系軍閥（張作霖）が創設した軍事工業が拡張されたほか、民族資本による各種製造業も興り、その後の発展の基礎となった。

中華人民共和国成立後は国内有数の重工業都市として発展してきた。近年はIT関連分野やサービス業、観光産業などの振興を図り、重工業中心から第三次産業へと産業構造の転換を進めている。

2008年の全市生産総額（GDP）は3,860億人民元で、全省の約4分の1を占める。なお、日系企業の進出は遼寧省全体では1,214社あるが、大部分は大連市（1,087社）に集中しており、瀋陽市内は95社と少ない。また、在留邦人は遼寧省全体で5,756人、同市は709人となっている（2008年）。労働者の平均月額給与は1,934元（遼寧省、2007年）。

■主要経済指標

マクロ項目	統計項目	単位	瀋陽市		長春市	
			2008年	伸び率 (%)	2007年	伸び率 (%)
GDP	GDP 総額	億元	3,860.5	16.3	2,089.0	17.7
	うち第一次産業	億元	183.7	8.0	200.0	8.6
	うち第二次産業	億元	1,934.1	18.4	1,049.3	22.1
	うち第三次産業	億元	1,742.7	15.0	839.7	14.5
	1人あたりGDP	元	54,106.0	15.5	28,131.0	16.1
工業	規模以上工業生産増加額	億元	1,714.2	23.5	2,839.1	33.9
国内投資	全社会固定資産投資総額	億元	3,008.7	27.4	1,350.6	42.1
	社会小売品販売総額	億元	1,505.5	22.2	778.3	16.8
消費	市区住民1人あたり年間平均可処分所得	元	17,295.0	18.4	12,811.0	12.8
	農民1人あたり年間平均収入	元	8,079.0	18.7	4,780.0	6.7
貿易	貿易総額	億ドル	71.3	17.5	69.4	32.9
	うち輸出総額	億ドル	41.2	24.2	15.1	38.8
	うち輸入総額	億ドル	30.1	9.5	54.3	31.3
対直接投資	投資件数（契約ベース）	件	518	▲32.0	123.0	▲17.4
	投資額（契約ベース）	億ドル	102.6	▲20.0	6.8	▲4.7
	投資額（実行ベース）	億ドル	60	19.0	16.9	20.0

（資料出所：日本貿易振興機構（ジェトロ）大連事務所）

■長春市の概要

長春市は吉林省の省都で、省内の政治、経済、文化の中心地となっている。市区の人口は358万人、全市では746万人（2007年）。現在の長春市が作られたのは19世紀前半と遅く、大都市へと変貌を遂げたのは20世紀に入ってからである。帝政ロシアがこの地を植民地化したのを契機として、日露戦争後の1907年にはロシアから南満州鉄道の譲渡を受け、日本がこの地域を植民地化した。

1931年に勃発した満州事変で東北三省（遼寧・吉林・黒竜江）が日本の関東軍の勢力下に置かれると、翌年には清朝のラストエンペラー愛新覚羅溥儀を擁立し満州国を建国。長春はその首都として「新京」と改称された。中国で偽満時期と呼ばれる満州国時代を通して長春には宮殿や中央省庁をはじめとする首都としての大規模な整備が行われ、その当時の建造物は現在でもその多くが残されている。

終戦後は一時ソ連の軍事占領の下、中国共産党が行政を把握、1948年に人民解放軍によって開放され、1954年までは直轄市として、その後は吉林省に編入され、省都として発展を続けている。



マンション建設ラッシュが続く
長春市郊外

産業では、自動車産業、農産品加工産業、ハイテク産業（光電子、情報、生物、自動車部品）など3つの柱産業がある。市内には、中国自動

車産業の重要拠点として、中国で最大規模の自動車メーカー「第一汽車集団」を擁し、自動車産業は同市経済の牽引役となっている。また、農業も非常に盛んで、長春市一帯は肥沃な松遼平原が広がり、「東北の穀倉」と呼ばれる世界でも有数のトウモロコシ生産地帯である。

2007年の全市生産総額（GDP）は2,089億人民元で、全省の約4割を占める。日系企業の進出は39社（吉林省全体では51社）、在留邦人は262人（吉林省全体では375人）となっている。労働者の平均月額給与は2,015元（2007年）。

■おわりに

米国発の金融危機は中国にも大きなダメージを与えたが、現在、中国経済は急速に立ち直りを見せている。特に、中国東北部の基幹産業の一つである自動車産業は内需の広がりから、今回訪問した自動車部品メーカー2社でも活況が続いている（下記「主な訪問企業等」ご参照）。ただ、中国東北部は近年外資を導入した長江デルタ地域や珠江デルタ地域の経済発展に比べ取り残された感はない。

一方、現在、鉄道、高速道路など交通インフラの整備が急ピッチで進められており、今後の潜在的な発展可能性は依然大きいものと感じた。



長春禹衡光学有限公司にて

（井阪 英夫）

■主な訪問企業等

都市名	企業名	業種	概要
瀋陽市	瀋陽博龍汽車部件製造有限公司	自動車部品製造	2000年創業。エンジン関連の部品製造を行っている。中国の自動車産業は急成長を遂げており、受注高は毎年30~40%程度の増産が続いている。従業員数約300名。
長春市	天合富奥汽車安全系統（長春）有限公司	自動車部品製造	1995年設立。フォルクスワーゲン、BMW、アウディ等の自動車用駆動・制動系部品、ハンドル、エアバッグ等の製造を行っている。日本のカンバン方式（在庫ゼロ）を採用し、コスト削減に積極的に取り組んでいる。
	長春禹衡光学有限公司	光学機器、精密測量機器メーカー	長春高新技術（ハイテク）産業開発区にある、光学機器関連のリーディングカンパニー。光学式エンコーダー（入力信号符号化装置）、各種検査機器等で、中国国内で最大の知的財産権を有する。従業員数約380名。
	吉林芸術学院	国立芸術大学	日本の東京芸術大学に相当する国立芸術大学。学生数約7,000名。音楽、美術、ダンス、俳優養成、アニメ、グラフィック等7つの部門に分かれている。